

I C T 使用状況報告書

令和6年10月21日

事 業 所 種 別	特定施設（介護付き有料老人ホーム）	
導入した機器等	ナースコール受信器43台、ナースコール用呼び出しボタン114台、ナースコールユニット（メディア・会話）68台、アンドロイド端末23台、センサーマット20台、ルーター1台、無線ネットワーク148台、スイッチングハブ25台、電話システム1式	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年3月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
I C T導入による効果等	<p>【I C Tの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①有線のナースコールから無線のナースコールシステムに変更する事により、居室内のどこでもナースコールの設置をすることができる検討時間の短縮・事故対策の強化をする事が出来た。</p> <p>②見守りカメラの導入により、居室内の動向をモニター確認する事ができ、職員の負担軽減による危険予測が出来るようになり事故予測が立てやすくなった。また、事故等あった際に振り返りができ、対策立案に役立っている。</p> <p>③PHSをスマホ化することにより、スマホのカメラ機能を使い写真・動画で状況共有をしやすくなった。</p> <p>④健常棟の居室で万が一転倒等事故にあった際に、壁の緊急コールまで行かなくても手元の呼び出しボタンで職員を呼ぶことが出来るようになり、事故の早期発見、入居者様が安心感を得られるようになつた。</p>	
事 業 着 手 日	令和3年11月24日	
事 業 完 了 日	令和4年3月30日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。